

授 業 概 要

秋田情報ビジネス専門学校

＜経営情報科＞

科目名	ファイナンシャルプランニング概論Ⅰ	
実務経験	税理士事務所を経営し各企業への経営コンサルタント業務を行っている。	
対象学生	総合ビジネス科1年/総合ビジネス科2年/ビジネス専攻科1年 経営情報科	
授業時間数・単位数	48コマ・3単位	
授業方法	講 義 [○] ・ 演 習 [○] ・ 実 習 []	
授業の概要	生活に身近な「お金」の知識を体系立てて学習するとともに、「3級ファイナンシャルプランニング技能士」資格試験に合格するために必要な知識を学ぶ。	
授業の到達目標	3級ファイナンシャルプランニング技能士資格試験の合格を目標とする。	
成績評価方法と基準	成績評価基準は、A（80点以上）・B（60点以上）・C（40点以上）・D（40点未満）とする。試験結果、出席率等を総合的に判断して評価	
準備学習・時間外学習	過去問題を利用し理解の確認に努めること。	
使用教科書・教材・参考書	イチから身につくFP3級合格のトリセツ2021 - 22版	
授業上の注意点		
授業計画（内容）		コマ数
ライフプランニングと資金計画(ライフプランと資金計画・社会保険制度 年金制度)		5
リスク管理(生命保険・損害保険・第三分野の保険)		5
金融資産運用(金融商品・債券・株式・投資信託・外貨建て金融商品・ポートフォリオとデリバティブ)		5
タックスプランニング(所得税・個人住民税)		5
不動産(不動産取引・不動産に関する法律・不動産に関する税金)		5
相続・事業承継(贈与税・相続税)		5
学科試験科目問題演習		6
実技試験科目問題演習		4
過去問題演習		8
合 計		48
授業単位数		3

授 業 概 要

秋田情報ビジネス専門学校

科目名	ファイナンシャルプランニング概論Ⅱ	
実務経験	税理士事務所を経営し各企業への経営コンサルタントを行っている。	
対象学生	総合ビジネス科1年/総合ビジネス科2年/ビジネス専攻科1年／経営情報科	
授業時間数・単位数	60コマ・4単位	
授業方法	講 義 [○] ・ 演 習 [○] ・ 実 習 []	
授業の概要	個人資産運用に関してリスク管理、金融、税金、不動産、相続などについてファイナンシャルプランニング概論Ⅱより深い内容を学習する。	
授業の到達目標	2級ファイナンシャルプランニング技能士資格試験の合格を目標とする。	
成績評価方法と基準	成績評価基準は、A（80点以上）・B（60点以上）・C（40点以上）・D（40点未満）とする。試験結果、出席率等を総合的に判断して評価	
準備学習・時間外学習	過去問題を利用し、理解の確認に努めること。	
使用教科書・教材・参考書	うかる！FP2級 速攻テキスト （日本経済新聞社）	
授業上の注意点		
授業計画（内容）	コマ数	
	ライフプランニングと資金計画(ライフプランと資金計画・社会保険制度 年金制度)	10
	リスク管理(生命保険・損害保険・第三分野の保険)	10
	金融資産運用(金融商品・債券・株式・投資信託・外貨建て金融商品・ポートフォリオとデリバティブ)	10
	タックスプランニング(所得税・個人住民税)	10
	不動産(不動産取引・不動産に関する法律・不動産に関する税金)	10
	相続・事業承継(贈与税・相続税)	10
	合計	60
	授業単位数	4

授 業 概 要

秋田情報ビジネス専門学校

科目名	商業簿記Ⅱ（応用）	
実務経験	税理士事務所を経営し各企業への経営コンサルタント業務を行っている。	
対象学生	総合ビジネス科1年/ビジネス専攻科1年/情報システム科2年/経営情報科4年	
授業時間数・単位数	70コマ ・ 4単位	
授業方法	講 義 [○] ・ 演 習 [○] ・ 実 習 []	
授業の概要	中規模株式会社が営む商品売買業、サービス業等の会計処理を学ぶ。	
授業の到達目標	中規模株式会社の会計知識を習得し、日商簿記2級の合格を目指す。	
成績評価方法と基準	成績評価基準は、A（80点以上）・B（60点以上）・C（40点以上）・D（40点未満）とする。試験結果、出席率等を総合的に判断して評価	
準備学習・時間外学習	授業で行った例題を復習し、トレーニング問題で理解を深めること。	
使用教科書・教材・参考書	ネットスクール 日商簿記2級にとおるテキスト商業簿記、日商簿記2級とおるトレーニング商業簿記 だれでも解ける過去問題集	
授業上の注意点	工業簿記と並行して進めるため、偏りなく習得するよう努力すること。	
授業計画（内容）		コマ数
簿記の本質		2
現金預金		1
商品売買		2
手形等の取引		1
固定資産		4
有価証券(1)		1
有価証券(2)		2
外貨建取引、引当金		2
純資産会計		2
税金の処理、決算		2
月次決算		4
本支店会計		1
連結会計		5
製造業会計		1
問題演習		40
合計		70
		授業単位数 4

授 業 概 要

秋田情報ビジネス専門学校

<経営情報科>

科目名	アプリケーション実習Ⅱ	
対象学生	情報システム科2年、経営情報科4年	
授業時間数・単位数	53コマ ・ 4単位（左記を標準とし、個々の学生の状況により変更あり）	
授業方法	講 義 [] ・ 演 習 [○] ・ 実 習 [○]	
授業の概要	文書作成、及びプレゼンテーションができるようになり、かつ資格も取得すること を目標として、問題演習などを中心に行います。	
授業の到達目標	サーティファイ Word文書処理技能認定試験（1・2級）の合格、及びプレゼン テーションができるようになることを目標とします。	
成績評価方法と基準	成績評価基準は、A(80点以上)・B(60点以上)・C(40点以上)・D(40点未満)と し、資格試験の合否、プレゼンテーションの実施結果及び平常点によって評価しま す。	
準備学習・時間外学習		
使用教科書・教材・参考書	Microsoft Word2019 クイックマスター応用編 ウイネット 2019対応 Word文書処理技能認定試験1・2級問題 集 サーティファイ	
授業上の注意点		
授業計画（内容）		コマ数
Word対策		
(1) Wordの基本		2
(2) 文字の入力と編集の基本操作		2
(3) 文書の編集		2
(4) 文書の印刷		2
(5) 文書の作成		2
(6) 表を使った文書の作成		2
(7) 図形や画像を使った文書の作成		2
(8) 総合学習問題		2
(9) 模擬試験プログラム活用等による演習		10
Powerpoint対策		
(1)プレゼンテーションの作成と管理		2
(2)テキスト、図形、画像の挿入と書式設定		2
(3)表、グラフ、SmartArt、メディアの挿入		2
(4)画面切り替えやアニメーションの適用		2
(5)複数のプレゼンテーションの管理		2
(6)プレゼンテーション資料の作成及び発表練習		17
合計		53
授業単位数		4

授 業 概 要

秋田情報ビジネス専門学校

科目名	就職対策Ⅱ	
対象学生	情報システム科２年、経営情報科４年	
授業時間数・単位数	１５コマ・１単位（左記を標準とし、個々の学生の状況により変更あり）	
授業方法	講 義 [○] ・ 演 習 [○] ・ 実 習 []	
授業の概要	就職活動を円滑に進めるための準備と、就業時に必要となる知識を得るためのセミナーなどを行います。	
授業の到達目標	希望企業への採用内定と就業時に必要となる知識を得ることを目標とします。	
成績評価方法と基準	成績評価基準は、A(80点以上)・B(60点以上)・C(40点以上)・D(40点未満)とし、平常点によって評価します。	
準備学習・時間外学習		
使用教科書・教材・参考書		
授業上の注意点		
授業計画（内容）		コマ数
(1)就職活動準備(履歴書作成、面接練習など)		10
(2)税務セミナー、社会人準備講座、スーツの着こなし講座等への参加		5
合計		15
授業単位数		1

授 業 概 要

秋田情報ビジネス専門学校

科目名	企業研修	
対象学生	情報システム科２年、経営情報科４年	
授業時間数・単位数	６０コマ ・ ４単位（左記を標準とし、個々の学生の状況により変更あり）	
授業方法	講義〔 〕・演習〔 〕・実習〔 ○ 〕	
授業の概要	採用内定先企業にて、OJTやOff-JTなどの企業研修を受けます。	
授業の到達目標	企業研修にて学んだ知識や技術を実際に活用し、一企業人として業務に従事することを目標とします。	
成績評価方法と基準	成績評価基準は、A(80点以上)・B(60点以上)・C(40点以上)・D(40点未満)とし、研修先企業の評価と出席率によって評価します。	
準備学習・時間外学習		
使用教科書・教材・参考書		
授業上の注意点	研修先では指示を待つだけではなく、自ら考え行動すること。	
授業計画（内容）		コマ数
採用内定先企業の研修計画に従います		60
合計		60
授業単位数		4

授 業 概 要

秋田情報ビジネス専門学校

科目名	アントレプレナーシップ論	
対象学生	経営情報科	
授業時間数・単位数	15 コマ ・ 1 単位	
授業方法	講 義 [] ・ 演 習 [○] ・ 実 習 []	
授業の概要	アントレプレナーシップの本質，それが生まれる環境，そして，アントレプレナーがアイデアを想起し，ビジネスプランを策定し，ビジネスモデルを構築するプロセスをはじめとするアントレプレナーシップに関する理論を現実のアントレプレナーの事例をとおして学習する。	
授業の到達目標	アントレプレナーシップ論の理論を学習することをとおして企業家精神を育み，起業に対する動機づけを行い，ベンチャービジネスのスタートアップにおいて求められる知識を獲得することを目標とする。	
成績評価方法と基準	出席状況、授業への参加意欲、及び科目試験の成績により評価する。 A:80～ B:60～79 C:40～59 D:40未満	
準備学習・時間外学習		
使用教科書・教材・参考書	なし	
授業上の注意点		
授業計画（内容）		コマ数
第1回：企業家たち		1
第2回：常識からの脱却		1
第3回：知識創造		1
第4回：アントレプレナーシップ		1
第5回：コンセプト		1
第6回：コンセプトの拡張・修正		1
第7回：組織文化		1
第8回：ビジネスモデル		1
第9回：競争優位の探求		1
第10回：コアコンピタンス		1
第11回：組織学習		1
第12回：ブルーオーシャン戦略		1
第13回：経営組織と経営管理		1
第14回：リーダーシップ		1
第15回：アントレプレナー事例研究		1
合計		15
授業単位数		1

授 業 概 要

秋田情報ビジネス専門学校

科目名	統計概論	
対象学生	経営情報科	
授業時間数・単位数	15 コマ ・ 1 単位	
授業方法	講 義 [] ・ 演 習 [○] ・ 実 習 []	
授業の概要	統計学は、経験的に得られたバラツキのあるデータから、数値上の性質や規則性あるいは不規則性を見いだす手法の一つである。この統計的手法は、実験計画、データの要約や解釈を行う上での根拠を提供する学問であり、幅広い分野で応用されている。連続型確率変数・連続型分布関数を導入し、統計推定及び検定について理解・適用する。	
授業の到達目標	記述統計においては、データの特徴値やまとめ方を理解する。推測統計においては、連続的な確率分布の数表の使い方を理解し、推定・検定がなぜ行えるのかを深く理解することを目標とする。	
成績評価方法と基準	出席状況、授業への参加意欲、及び科目試験の成績により評価する。 A:80～ B:60～79 C:40～59 D:40未満	
準備学習・時間外学習		
使用教科書・教材・参考書	スッキリわかる確率統計 -定理の詳しい証明つき- (初版)、皆本 晃弥、近代科学社	
授業上の注意点		
授業計画 (内容)		コマ数
度数分布表		1
データの特性値		1
散布度		1
相関と回帰		1
標本分布I		1
標本分布II		1
推定I (点推定、特に最尤法)		1
推定II (区間推定、特に母平均)		1
推定III (区間推定、母分散と母比率)		1
検定の考え方		1
平均の検定		1
等平均の検定		1
分散の検定・等分散の検定		1
母比率の検定		1
適合度の検定・独立性の検定		1
合計		15
授業単位数		1

授 業 概 要

秋田情報ビジネス専門学校

科目名	ネットワーク応用	
実務経験		
対象学生	情報システム科2年、経営情報科4年	
授業時間数・単位数	15コマ・1単位（左記を標準とし、個々の学生の状況により変更あり）	
授業方法	講 義 [O] ・ 演 習 [O] ・ 実 習 []	
授業の概要	ネットワークを構成する様々な技術と、仕組みについての学習を通して、ネットワーク設計に必要な知識と具体的手法を習得します。	
授業の到達目標	ネットワークの仕組みを理解し、ネットワーク設計ができるようになることを目標とします。	
成績評価方法と基準	成績評価基準は、A（80点以上）・B（60点以上）・C（40点以上）・D（40点未満）とする。プログラミング課題、出席率、成果（達成目標）等を総合的に判断して評価します。	
準備学習・時間外学習	欠席した場合、補習を時間外に行います。	
使用教科書・教材・参考書	Get!CompTIA Network+（翔泳社）	
授業上の注意点		
授業計画（内容）		コマ数
OSI参照モデルのレイヤーを判断することができる。		1
ポートとプロトコルの目的と利用を説明することができる。		1
ルーティングとスイッチングを説明することができる。		1
ネットワークトポロジーを説明することができる。		1
ワイヤレステクノロジーを説明できる。		1
クラウドの概念と目的を説明できる。		1
ネットワークサービスの機能を説明できる。		1
適切な配線ソリューションをあげられる。		1
ネットワーク機器を説明できる。		1
ネットワーク構成の違いを理解できる。		1
仮想化を説明できる。		1
WANテクノロジーを説明できる。		1
復習・問題演習		2
科目試験		1
合 計		15
授業単位数		1

授 業 概 要

秋田情報ビジネス専門学校

科目名	各種検定試験対策	
対象学生	情報システム科2年、経営情報科3・4年	
授業時間数・単位数	135コマ ・ 9単位（左記を標準とし、個々の学生の状況により変更あり）	
授業方法	講 義 [] ・ 演 習 [○] ・ 実 習 []	
授業の概要	就職等に有益な検定試験について、本科カリキュラムに関連する授業がない場合など、学生各自が目標とする検定試験を選定し、学習方法やスケジュールを教員と相談の上、テキスト学習や過去問題等の演習を行います。	
授業の到達目標	選定した検定試験の合格を目標とします。	
成績評価方法と基準	成績評価基準は、A(80点以上)・B(60点以上)・C(40点以上)・D(40点未満)とし、検定試験合否や模擬試験の結果、平常点等を総合的に判断して評価	
準備学習・時間外学習	授業時間だけでは学習が不足する場合は、授業時間外での学習が必要です。	
使用教科書・教材・参考書	選定した検定試験のテキスト・問題集等	
授業上の注意点		
授業計画（内容）		コマ数
検定試験選定・学習計画立案		3
学習活動(テキスト学習、問題演習)		132
※関連するカリキュラムが他の科にある場合は、極力その授業計画に沿って受講する。		
合 計		135
授業単位数		9

授 業 概 要

秋田情報ビジネス専門学校

科目名	自主課題学習	
対象学生	経営情報科 4 年	
授業時間数・単位数	60 コマ・4 単位（左記を標準とし、個々の学年・学生の状況により変更あり）	
授業方法	講 義 [] ・ 演 習 [○] ・ 実 習 [○]	
授業の概要	社会人になるにあたり、下記の観点から個人ごとテーマを設定し、各自スケジュールを管理しながら学習活動を行います。 ① 専門学校及び併修先の大学で学習した内容の発展として、更に理解を深めたい知識や技術 ② 内定先の業務を行うにあたって、事前に身につけたい知識や技術	
授業の到達目標	社会人になることへの不安を少しでも解消し、自信を持って仕事に就けるようになることを目指します。	
成績評価方法と基準	成績評価基準は、A (80 点以上) ・ B (60 点以上) ・ C (40 点以上) ・ D (40 点未満) とし、学習態度、出席率、成果（達成目標）を総合的に判断し評価します。	
準備学習・時間外学習	必要に応じて、学外の図書館を利用したり、内定先企業と相談したりします。	
使用教科書・教材・参考書	各自の設定テーマに関する書籍	
授業上の注意点		
授業計画（内容）		コマ数
テーマ設定・学習計画立案		2
学習活動		58
合計		60
授業単位数		4

授 業 概 要

秋田情報ビジネス専門学校

科目名	FP演習	
対象学生	総合ビジネス科1年/総合ビジネス科2年/ビジネス専攻科/経営情報科4年	
授業時間数・単位数	30コマ・2単位	
授業方法	講 義 [] ・ 演 習 [○] ・ 実 習 []	
授業の概要	ファイナンシャルプランニング技能士2級取得のための問題演習	
授業の到達目標	ファイナンシャルプランニング技能士2級の合格	
成績評価方法と基準	成績評価基準は、A（80点以上）・B（60点以上）・C（40点以上）・D（40点未満）とする。試験結果、出席率等を総合的に判断して評価	
準備学習・時間外学習	不正解の問題テキストで確認し、理解を深める。	
使用教科書・教材・参考書	問題プリント他	
授業上の注意点		
授業計画（内容）		コマ数
学科試験問題演習（ライフプランニングと資金計画）		2
学科試験問題演習（リスク管理）		2
学科試験問題演習（金融資産運用）		2
学科試験問題演習（タックスプランニング）		2
学科試験問題演習（不動産）		2
学科試験問題演習（相続・事業承継）		2
実技試験問題演習		4
過去問題演習		6
模擬試験		8
合計		30
授業単位数		2

授 業 概 要

秋田情報ビジネス専門学校

科目名	工業簿記	
対象学生	総合ビジネス科1年/ビジネス専攻科1年/情報システム科2年/経営情報科3年	
授業時間数・単位数	60コマ ・4単位	
授業方法	講 義 [○] ・ 演 習 [○] ・ 実 習 []	
授業の概要	製造業における原価の流れと原価計算を学ぶ。	
授業の到達目標	工業簿記の基礎を理解し、基本的な原価計算ができる。日商簿記2級に合格する	
成績評価方法と基準	成績評価基準は、A（80点以上）・B（60点以上）・C（40点以上）・D（40点未満）とする。試験結果、出席率等を総合的に判断して評価	
準備学習・時間外学習	授業で行った例題を復習し、トレーニング問題で理解を深めること。	
使用教科書・教材・参考書	ネットスクール 日商簿記2級にとおるテキスト工業簿記、日商簿記2級とおるトレーニング工業簿記 だれでも解ける過去問題集	
授業上の注意点	商業簿記と並行して進めるため、偏りなく習得するよう努力すること。	
授業計画（内容）		コマ数
工業簿記とは・工業簿記のアウトライン		1
総合原価計算の基礎		3
総合原価計算の応用		3
工業簿記の勘定連絡と財務諸表		2
標準原価計算		4
直接原価計算		3
本社工場会計		1
個別原価計算の基礎		2
個別原価計算の応用		3
正確な計算のための費目別計算		2
問題演習		36
合 計		60
授業単位数		4

授 業 概 要

秋田情報ビジネス専門学校

科目名	総合実践Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	
対象学生	経営情報科１・２・３・４年	
授業時間数・単位数	２コマ・３０単位（左記を標準とし、個々の学生の状況により変更あり）	
授業方法	講義〔 〇 〕・演習〔 〇 〕・実習〔 〇 〕	
授業の概要	球技大会や学園祭、校外研修などの行事、及び各カリキュラムの総合的な実践・学習を行います。	
授業の到達目標	充実した学生生活を送るとともに、社会人となるにあたって協調性・積極性・計画性などを養います	
成績評価方法と基準	成績評価基準は、Ａ（８０点以上）・Ｂ（６０点以上）・Ｃ（４０点以上）・Ｄ（４０点未満）とし、活動状況や出席状況、平常点によって評価します。	
準備学習・時間外学習		
使用教科書・教材・参考書		
授業上の注意点		
授業計画（内容）		コマ数
（１）球技大会		４
（２）学園祭		４
（３）その他学校行事など		２２
合計		３０
授業単位数		２

授 業 概 要

秋田情報ビジネス専門学校

科目名	卒業研究	
対象学生	情報システム科2年、経営情報科4年	
授業時間数・単位数	75コマ・5単位（左記を標準とし、個々の学生の状況により変更あり）	
授業方法	講義〔○〕・演習〔○〕・実習〔○〕	
授業の概要	在学中に自分が学んだことや身に付けたこと、チャレンジしたことなどからテーマを選び、調査や研究をして報告書を作成する。また、その内容をプレゼンテーションする。	
授業の到達目標	在学中に習得した知識を駆使した研究成果物を完成させ、卒業研究発表を行うことで、計画立案と実行する能力、進捗管理や目標達成の能力を身に付ける。	
成績評価方法与基準	成績評価基準は、A(80点以上)・B(60点以上)・C(40点以上)・D(40点未満)とし、研究成果によって評価します。	
準備学習・時間外学習	研究活動を行う時間が足りない場合は、放課後等の時間を使って進めること。	
使用教科書・教材・参考書	特になし	
授業上の注意点		
授業計画（内容）		コマ数
1. テーマの選定		5
2. 研究活動		18
3. 研究報告書の作成		15
4. プレゼンテーション資料の作成		25
5. プレゼンリハーサル		4
6. プレゼン本番		8
合計		75
		5

授 業 概 要

秋田情報ビジネス専門学校

科目名	大学科目補講	
対象学生	経営情報科１・２・３・４年	
授業時間数・単位数	１２０コマ・８単位（左記を標準とし、個々の学年・学生の状況により変更あり）	
授業方法	講義〔 〕・演習〔 ○ 〕・実習〔 ○ 〕	
授業の概要	経営情報科の併修先「北海道情報大学通信教育部」の大学科目履修のために必要となる学習を各学生が個々に計画を立てて行います。	
授業の到達目標	各大学科目の単位修得を目標とします。	
成績評価方法と基準	成績評価基準は、Ａ（８０点以上）・Ｂ（６０点以上）・Ｃ（４０点以上）・Ｄ（４０点未満）とし、学習態度、出席率、成果（達成目標）を総合的に判断し評価します。	
準備学習・時間外学習	学習に遅延が発生しそうな場合は、授業時間外にも学習を行う必要があります。	
使用教科書・教材・参考書	各大学科目の教科書、北海道情報大学通信教育部レポート集、学習用プリント他	
授業上の注意点		
授業計画（内容）		コマ数
授業オリエンテーション		１
学習計画立案		２
学習活動		１１７
合計		１２０
授業単位数		８

授 業 概 要

秋田情報ビジネス専門学校

科目名	販売士Ⅱ	
対象学生	総合ビジネス科、経営情報科	
授業時間数・単位数	30コマ	2単位
授業方法	講 義 [○] ・ 演 習 [] ・ 実 習 []	
授業の概要	小売業についての店舗形態、マーチャンダイジング、店舗実務、マーケティング、小売に関する法制度を理解し、リテールマーケティング検定2級の合格を目指す	
授業の到達目標	リテールマーケティング検定2級の合格を目指す	
成績評価方法と基準	出席と授業態度（50％）、小テスト試験（30％）、試験（20％）	
準備学習・時間外学習		
使用教科書・教材・参考書	成美堂出版 1 回で合格！販売士検定2級テキスト＆問題集	
授業上の注意点	提出課題は期限を守る	
授業計画（内容）		コマ数
店舗形態別小売業の運営特性、中小小売業の課題と方向性		1
商業集積の運営特性		1
マーチャンダイジングの戦略的展開		1
仕入計画の立案と仕入活動の戦略的展開		1
販売政策の戦略的展開		1
販売管理政策の戦略的展開、物流政策の戦略的展開		1
小テスト		1
戦略的ストアオペレーションの展開視点		1
店舗運営サイクルの実践と管理、戦略的ディスプレイの実施方法		1
レイバースケジューリングプログラムの役割と仕組み、人的販売の実践と管理		1
小売業のマーケティング戦略の考え方		1
顧客戦略の展開方法、販売促進の企画と実践		1
商圈分析の立案と実施方法、出店立地の選定と出店戦略の立案		1
業態開発の手順と実践		1
販売管理者の基本業務		1
販売管理者の法令知識		1
販売事務管理に求められる経営分析		1
店舗組織体制と授業員管理		1
店舗施設の維持管理		1
予備試験		2
試験対策		9
合 計		30
授業単位数		2